



折居内科医院からのお知らせ

第97号 H27.6

CT装置を更新しました。 低線量肺CTが可能に！



開院して22年目に突入した今年、3台目の全身CT撮影装置を更新しました。今まで「一列撮影」だった装置が「16列撮影」装置となったおかげで被曝量の低減と撮影時間の短縮と画像の鮮明化、更には立体画像の表示も一部可能となりました。

昨今話題になっております、肺癌検診の「低線量肺CT検診」も可能となりました。但し、要精密検査の時には、線量が若干増えます。また、従来行って参りました「体脂肪解析ソフト」も更新され、より鮮明かつ正確な画像が得られています。

今回、新たなソフトとしまして「左手レントゲンによる骨塩定量測定」が可能になり、これにより「骨粗鬆症」の診断が可能になりました。



《熱中症の予防》

◎熱中症の予防には、水分補給と暑さを避ける事が大切です。

- ・ 外出時は涼しい服装。
- ・ 炎天下での運動や仕事を避ける。
- ・ 室内でも熱中症になる可能性があるため、室温・寝具の調整が必要です。
- ・ 尿量が少ない時は脱水の可能性もあるので、十分な水分をとる事が重要です。

《熱中症かな？と思ったら・・・》

- ・ 立ちくらみ・こむら返り→衣服をゆるめる・涼しい所で安静にする・経口の水分摂取・冷却。
- ・ 発汗・めまい・頭重感・強い疲労感・悪心・嘔吐・体温上昇→医療機関への受診。
- ・ 高熱・意識がはっきりしない→救急搬送。